

進路だより

令和4年3月11日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

令和3年度も残りわずかとなり、「進路だより」においても今回で最終号となりました。最終号は1年間のまとめということで、学部毎に児童生徒たちが進路学習に取り組んだ様子をお伝えします。

今年度は第5号まで発行し、進路情報の発信・啓発に努めて参りました。また、この進路だよりは学校のホームページにも平成31年度分から3年分の記事を掲載しています。その他、「進路の手引き」や「各事業所に関する情報」なども掲載しておりますので、ホームページもぜひご覧下さい。子どもたちの今後の進路について、何か少しでもヒントになれば幸いです。1年間ありがとうございました。

進路指導部一同

小学部



中学部作業体験を行いました！



小学部6年生は、中学部の先輩が行っている紙工班と家庭班の作業を体験しました。作業体験を行うことで、中学部のイメージをもつことにつながり、「紙破いたよ!」「チクチクしたよ!」など不安な気持ちよりも期待感の方が上回り、子どもたちは中学部での生活を楽しみにしています。また、初めて関わる中学部の先生のお話をよく聞きながら、作業に取り組んでいました。



中学部3年生 合格までの道!!

中学部3年生は、それぞれ志望する学校の入学選考に向けて、進路学習に取り組みました。学校によって入学検査内容が異なるため、作業能力検査の練習や学力検査に向けた対策、面接練習などを行いました。

面接練習では、志望理由、入学後頑張りたいこと、休日の過ごし方など、様々な質問に対してどのように答えるかを考えました。模擬面接後に、振り返りシートを使って、自分の課題を見つけ、何度も練習することで自信をつけて本番に臨むことができました。頑張った結果が実り、6名全員が志望通りの学校に無事合格することができました。

→面接練習の様子



3年生全員合格！
おめでとう！！



高等部

移行支援会議

～卒業してからの見通しを持つために～

高等部3年生を対象に、2月から3月に「移行支援会議」を行っています。移行支援会議とは、『卒業後の生活へと移行する橋渡しとなる大切な会議』です。進路先との引継ぎだけでなく、卒業後の本人・保護者の願いを実現するための情報交換、支援内容の確認、支援者の役割分担等を確認していきます。



【主な参加者】

進路先の方、市町福祉課、相談支援事業所、本人、保護者、担任、進路担当、(障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク)

()内は企業で働く場合

【移行支援会議で確認すること】(例)

福祉関係機関で働く場合

本人・保護者の要望や利用開始日、利用時間、送迎、給食等の確認、福祉サービス事業所との共通理解事項の確認、福祉サービス手続きや年金の説明、相談事業所との確認事項 等

企業で働く場合

勤務時間、休暇、通勤方法、入社式、出勤、提出書類について等確認、障がい者就業・生活支援センターからの支援についての説明 等

卒業生を

「末永く、よろしくお祈いします。」

しごと☆みらいスケッチ

～高校生を対象とする就職相談会～

いつもなら、企業の方々に生の声を聴ける貴重な機会ですが、今年度はコロナ感染対策のため高等部 1、2年生の 15 名が参加し、2月 22 日(火)に YouTube 及び teams を利用しての双方向の通信の形で行われました。参加企業から、業務内容や従業員に求める力などを 10 分程度で説明していただき、質疑応答という流れでの実施となりました。通信の形で今年度初めて行ったためか、途中で機材トラブル等がありましたが、生徒たちは集中して画面を見ていました。時間の都合で 8 社中 6 社しか見れなかったため、残りの 2 社は時間を改めて設け視聴しました。

参加企業

8 社

- ① エノモト岩手工場、
- ② 筑波ダイカスト工業、
- ③ 日鉄テックスエンジ、
- ④ 楽水会、
- ⑤ 双葉精密、
- ⑥ 津田商店、

残念..

以下の 2 社は後日視聴
三峯の杜、
SMC釜石工場



企業の皆様

「ありがとうございました。」

もうすぐ卒業!!

この春、中学部6名、高等部12名、しゃくなげ分教室(高)3名が釜石祥雲を卒業します。

◎中学部

3つの学校へ分かれて進みます。
とても、寂しいですね。

進学先で、新しい仲間を得て、高校生活を楽しみ、社会人になるために頑張ってください。

氏名	進路先
O・Iさん	気仙光陵支援学校高等部へ
K・Iさん	釜石祥雲支援学校高等部へ
S・Kさん	釜石祥雲支援学校高等部へ
S・Aさん	盛岡峰南高等支援学校へ
S・Tさん	釜石祥雲支援学校高等部へ
I・Mさん	釜石祥雲支援学校高等部へ

氏名	進路先
I・Mさん	ライトハウス他
K・Rさん	かまいしワーク・ステーション
S・Yさん	夢工房・カトレア
S・Tさん	SMC株式会社
T・Yさん	わらび学園、四季の郷
H・Mさん	ワークフォローおおつち
O・Uさん	職安でアルバイトを探しています。
K・Aさん	まごころ就労支援センター釜石
G・Sさん	四季の郷、わらび学園
K・Mさん	エノモト岩手工場(調整中)
S・Nさん	株式会社マイヤ野田店
S・Yさん	つくし共同作業所

◎高等部

実習できることが当たり前、見学できることが当たり前だったところが遠い昔のように感じられます。皆さんが現場に出たときは、実習させていただけるだけで感謝でした。

そんな中で、皆さんはそれぞれのペースで努力しました。これからも、努力をす〜と続けてくださいね。

◎しゃくなげ分教室(高)

3人同じ場所で生活します。これからも仲良く頑張ってくださいね。

氏名	進路先
K・Kさん	釜石病院継続入所
N・Aさん	釜石病院継続入所
S・Fさん	釜石病院継続入所

寂しくなりますが・・・

それぞれの場所で ご活躍を!



質問コーナー

沢山お待ちしております。
ています。

～保護者の皆さんから寄せられた質問にお答えします～

Q 1 就労継続支援 B 型の工賃が上がることはありますか？

A あります。県をあげて工賃アップに取り組んでいるところです。全国でみれば岩手県はけっして低い工賃ではありません。全国で実は 7 番目に高い工賃になっています。それでも一般就労の給与と比べればかなりの開きがあります。各事業所で様々な工夫し工賃アップを目指して取り組んでいるところです。

Q 2 子どもがまごころ就労支援センター釜石を見学して農業に興味をもったようです。まごころではどんなことしていますか？

A ワインを作っているので、ぶどうに関わる農作業があります。夏は、畑の草取りや枝の選定。秋は、ブドウの収穫や選果。冬支度としてぶどうの木を囲う作業などがあります。他にも、鹿の革を使った製品、マスクやワインの袋などの手芸製品、障がい者スポーツ大会の木のメダルなどもつくっています。

Q 3 釜石圏域では支援学校卒業後すぐに就労継続支援 A 型にはいけないということでしたが、どうしたら利用ができますか？

A まずは B 型か就労移行支援を利用します。将来は A 型で働きたいという希望を伝えておくことも必要と思います。本人が努力して力がついてきて、支援は必要であるが最低賃金で働いてほしい(A 型でやっていける)と事業所が判断し声がかかったら、利用することができると思います。

また、障がい者雇用で企業で働いていて継続が難しくなり、A 型を利用し始める方もいらっしゃいます。

質問のある方は、担任まで！！

そして、進路部がお答えします。